CASBEE-新築

建築物総合環境性能評価システム
CASBEE-新築（簡易版）

CASBEE-NCb_2004v1.4

作成日 2005年11月2日　作成者 建設計事務所　確認日 1900年1月0日　確認者 1900/1/0

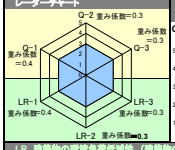
①建物概要 注1

建物名称	（仮称）釜座計画		
建物用途	集合住宅 飲食店		
建設地・気候区分	京都府京都市	地域区分	IV
地域・地区	商業地域、防火地域		
竣工年	2008年1月　予定	階数	地上10F
敷地面積	543 ㎡	構造	鉄筋コンクリート造
建築面積	461 ㎡	平均居住人員	60 人
延床面積	3,069 ㎡	年間使用時間	5,475 時間/年

②建物の総合的な環境性能評価結果 注1, 2

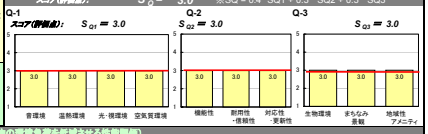
②-1 建築物の環境品質・性能と環境負荷低減性（評価分野毎）

レーダーチャート



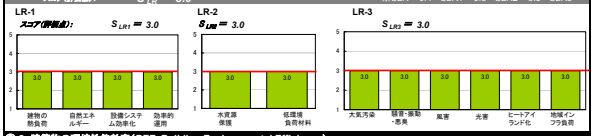
Q 建築物の環境品質・性能（建築物の居住環境のアメニティを向上させる性能評価）

スコア(評価点)： S_Q = 3.0　※SQ = 0.4* SQ1 + 0.3 * SQ2 + 0.3 * SQ3



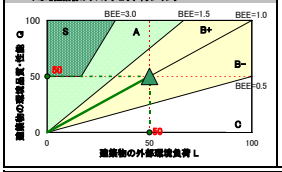
LR 建築物の環境負荷低減性（建築物の環境負荷を低減させる性能評価）

スコア(評価点)： S_{LR} = 3.0　※SLR = 0.4 * SLR1 + 0.3 * SLR2 + 0.3 * SLR3



②-2 建築物の環境性能効率（BEE：Building Environmental Efficiency）

BEEによる建築物のサステナビリティランキング



$$BEE = \frac{\text{建築物の環境品質・性能 Q}}{\text{建築物の外部環境負荷 L}} = \frac{25 * (S_Q - 1)}{25 * (5 - S_{LR})} = \frac{50}{50} = 1.0$$

Q = 25 * (S_Q - 1)　*S_Q: Score of Q category
SQ = 0.4* SQ1 + 0.3 * SQ2 + 0.3 * SQ3

L = 25 * (5 - S_{LR})　*S_{LR}: Score of LR category
SLR = 0.4 * SLR1 + 0.3 * SLR2 + 0.3 * SLR3

③建物の総合的な環境性能とは別枠の重要評価項目 注3

③-1 建築物の代表的な環境負荷に関する定量的な評価指標　＜実施設計段階、竣工段階で詳細な評価を行う場合に記入＞

	年間延床面積あたり指標	人・時間あたり指標	年間延床面積あたり削減量	削減率 %	0 10 20 30 40 50%
運用エネルギー消費量	MJ/㎡年	MJ/人時	MJ/年㎡		
運用CO_2排出量	kg-CO_2/年㎡	kg-CO_2/人時	kg-CO_2/年㎡		
水消費量	m^3/年㎡	m^3/人時	m^3/年㎡		
$LCCO_2$排出量	kg-CO_2/年㎡	kg-CO_2/人時	kg-CO_2/年㎡		
LC廃棄物量	t/年㎡	t/人時	t/年㎡		
LC資源消費量	t/年㎡	t/人時	t/年㎡		

③-2 デザインプロセスの評価

配慮項目		
1 計画段階		
1	有識者等による設計	
2 設計段階		
1	環境管理計画	

備考　注1：評価結果の表示は①～②まで
注2：敷地選定に関わる評価は対象外、当該敷地に建てられる標準的な建築物の得点が3点。NAは評価対象外とした項目を示す。
注3：③の評価はオプションとし、実施設計段階および竣工段階で可能な範囲で記入する。